

# 吉田一無 にまつわる伝聞

主催 三條かの記念館

後援 米沢市剣道連盟

2023 12月17日 (日)

午後2時～4時

会場 三條かの記念館 入場料は当日受付

入場料 大人(高校生以上)・・・1,000円  
幼児、小・中学生・・・無料



講演 「鷹山公時代の剣法達人 吉田一無」 星 省治 (一無の子孫・神奈川県大和市在住)

ピアノ演奏 「鷹山公時代のクラシック音楽」 福田 直樹 (ピアニスト)

演武 「居合・試し斬り」 渡部 重雄 (居合道錬士七段) 福嶋 仁 (居合道教士七段)

講演では米沢市出身で吉田一無の子孫・星 省治さんが「鷹山公時代の剣法達人 吉田一無」を語り、一無が極めた居合・試し斬りを米沢市剣道連盟・居合道剣士に演武していただきます。

また、福田直樹さんのピアノ演奏により、一無や鷹山公時代のモーツァルトやベートーヴェンなどのピアノ曲をお楽しみいただきながら星さんと福田さんのトークを交え、新たな視点で米沢の歴史を振り返ります。

伝聞1. 江戸時代中期の米沢藩・南原猪苗代町に下級武士の子として誕生 (1704～1782年)。

伝聞2. 小さいときから剣の修行に励み、冬に降雪して道がなくなるとお入り水を歩いて道場に通う。

伝聞3. 城下にある梅沢運平の道場で一刀流の免許皆伝 (1729年)。米沢藩随一の達人と評判になる。

伝聞4. 南原猪苗代町北端に、一無が斬ったという大岩「一夢の化石 (いちむのぼけものいし)」が保存されている。

伝聞5. 自宅隣に道場を開き多くの門下生を育てる。当時の住まいが現存し、道場跡地も確認できる。

伝聞6. 糠野目のお役屋で出張指導の帰り道に芦付橋 (米沢四中近く) で追いはぎを一刀両断 (1761年)。

伝聞7. 上杉重定公がお能の舞で演じた熊坂長範のなぎなたの斬り方をけなすが公より謝意。

伝聞8. 上杉鷹山公の師・細井平洲の悪い噂を真に受け暗殺を図るが平洲の毅然とした態度に未遂 (1772年)。

これを直木賞作家・藤沢周平が短編小説集「夜の橋」にある「一夢の敗北」に伝聞6とともに描写。

伝聞9. 上杉鷹山公に可愛がられ、公から直筆の扁額「思無邪」を賜る (1778年)。上杉博物館に収蔵。

当時、同じ猪苗代町に一無の親戚・吉田綱富がおり、役所勤めのあとに晩年の鷹山公のお世話係をしました。隠居してからは一無の話を含め数多くの郷土の歴史民俗資料を書き残しました。

綱富の家は代々当時のまま残されてきましたが、ピアニスト・福田直樹さんはこの古民家を譲り受け、住まいとして演奏活動の拠点として大事に保存しておられます。